

令和6年8月10日

事務長

地区コミッショナー

団委員長

隊長

日本ボーイスカウト千葉県連盟
県コミッショナー 片 寄 朗

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表に対して

8月8日夕方に発生した宮崎県日向灘を震源とする地震に関連して気象庁から『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）』が発表されました。南海トラフ地震についてのものですが、対象は29都府県707市町村と広範囲にわたっています。

政府によれば少なくとも一週間は“日ごろの地震への備えの再確認”と“地震が発生したらすぐに避難するための準備をして日常生活を送ること”が求められています。南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくないと言われてきましたが、このような情報が出されたことの意味を重く受け止める必要があります。

現在夏期の活動が進行中または計画されていますが、下記の点について今一度関連情報を確認のうえ、安全対策、発災時の避難計画・行動計画などを点検いただきますようお願いします。

記

1. 南海トラフ地震臨時情報について

- ① 「南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっている」と考えられる状態になっています。<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>
- ② この注意情報が出た時の対応として内閣府は「日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備」をすることを推奨しています。
<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/rinji/index4.html>

2. 活動時での留意事項 ※スカウト、指導者の安全を最優先に検討、確認をお願いします。

- ① 災害時の指示系統、安全確認系統の再確認（責任者、担当者等の役務の確認と実際に機能することの確認）
- ② 地震、豪雨等の災害時の避難計画の確認
特に東海以西では南海トラフ地震において津波の危険があるので、避難場所と避難方法について十分に確認しておく。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/assumption.html>
- ③ 関係者間の即時的な連携と情報収集手段等、通信・連絡系統の確認（複数回路の確保）
- ④ 活動場所の地形、インフラ、災害特性（最低限ハザードマップを確認）の情報確認
- ⑤ 自治体・警察・消防・病院等との連携の確認
- ⑥ 必要かつ実施可能な共助行動の想定と対応
- ⑦ 必要事項をスカウトと共有
- ⑧ その他必要な事項

3. その他の留意事項

- ① 保護者に対して活動に当たり必要な安全対策を講じていることを説明し理解を得たうえで実施するよう努める。
- ② 「そなえよつねに」の実践、スカウトへの教育の一環としての家庭防災の確認・啓発
例) 家具の転倒・落下防止、非常持出品、飲料水や食料等の備蓄を確認する。
夜間就寝時にはベッドの脇にスリッパや懐中電灯を用意しておく。
家族でお互いの安否を確認する連絡方法や避難場所について話し合っておく。

以 上

本件についてのお問い合わせ 地区コミッショナーを通じて県コミッショナー片寄 朗まで